

第6章 ダイオキシン類

ダイオキシン類は、主に物が燃焼するときに生成される物質で、主な発生源は、ごみ焼却のほか、自動車排出ガスやたばこの煙などです。ダイオキシン類は、大気中に排出された後、土壌や水を汚染し、食物連鎖を通して生物にも蓄積されると考えられています。

しかし、環境中や食品中に含まれる量は超微量であるため、ダイオキシン類による発がんリスクは、ほとんどないとも考えられています。

1. ダイオキシン類の現況

本市では、瑞浪市可燃物焼却処分場と瑞浪市衛生センターにおいて、毎年ダイオキシン類の検査を実施していますが、いずれの施設からも、基準値を超えるダイオキシン類は、検出されていません。

表23. ダイオキシン類測定結果

施設名	測定箇所	測定値	基準値
瑞浪市可燃物焼却処分場 (H29. 9. 19～H30. 2. 8測定)	1号炉排ガス	0.12 ng-TEQ/ Nm ³	5 ng-TEQ/ Nm ³
	2号炉排ガス	0.78 ng-TEQ/ Nm ³	5 ng-TEQ/ Nm ³
	ばいじん	2.60 ng-TEQ/g-dry	3 ng-TEQ/g-dry
	燃えがら	0.000076 ng-TEQ/g-dry	3 ng-TEQ/g-dry
瑞浪市衛生センター (H29. 10. 26測定)	排ガス	0.0049ng -TEQ/g-dry	10 ng-TEQ/g-dry
	燃えがら	0.000022 ng-TEQ/g-dry	3 ng-TEQ/g-dry

資料：浄化センター、クリーンセンター